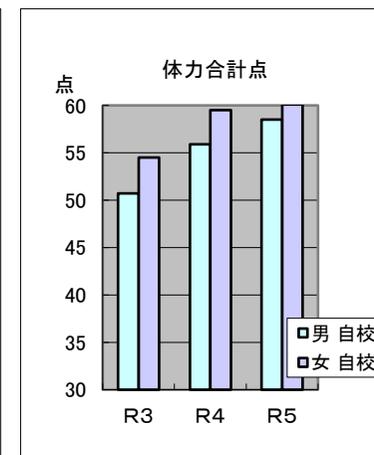
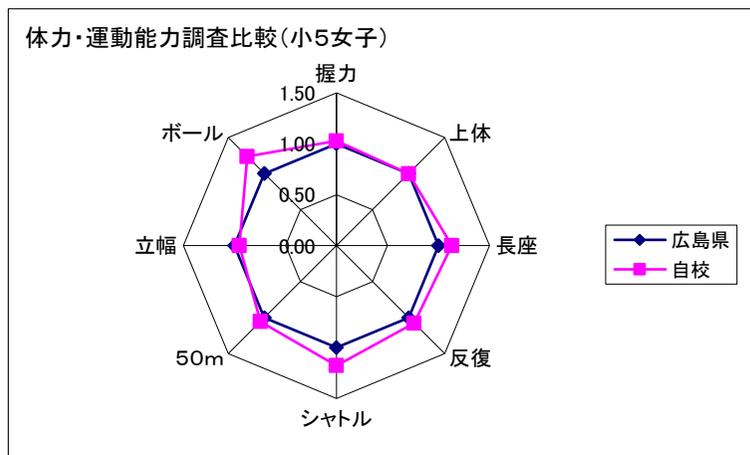
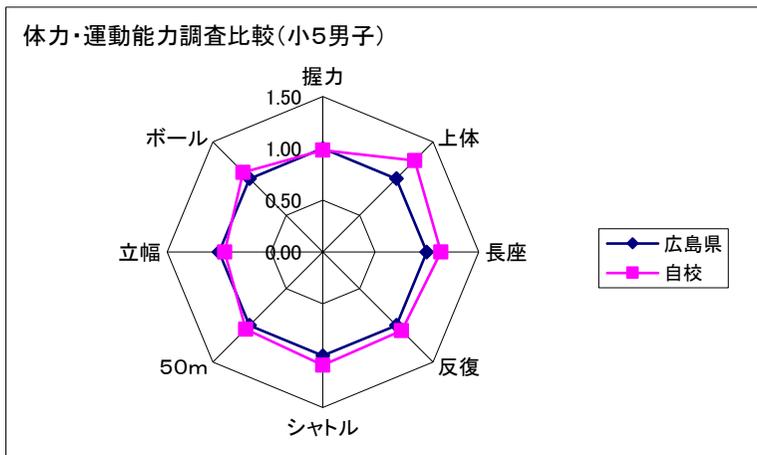


男子の体力合計点 学校 58.5点 県平均 54.16点

女子の体力合計点 学校 60.1点 県平均 56.22点



R5体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析

① 50m走(呉市の課題種目)  
 ・男子は1・5年生, 女子は2・6年生が全国平均(R4年度)を上回った。しかし, 男子2・3・4・6年生と女子1・3・4・5年生は全国平均に及ばなかった。昨年同様, 瞬発力を生かした走る運動に課題がみられた。

②20mシャトルラン(中学校区の課題種目)  
 ・2年続けて全学年を通して全国平均(R4年度)を上回った。業間体育や体力向上をねらったなわとび検定などの取組を継続的に行った効果が出ていると考えられる。

③長座体前屈(自校の課題種目)  
 ・男子は3・5年生, 女子は1・3・4・5年生が全国平均(R4年度)を上回った。しかし, 男子1・2・4・6年生と女子2・6年生は全国平均に及ばなかった。男子の課題が大きく出る結果となった。しかし昨年と比べ平均得点は向上しているため, 取組の成果は出ていると考えられる。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 ( 50m走 ) 具体的な数値目標 (男子0.2秒, 女子0.2秒)	具体的な取組内容 ・「くれチャレンジマッチ」のダッシュリレーを継続的に行う。常に自己の記録目標(50m走)を明確にさせて定期的に授業等で計測する。 ・授業開始時に体幹を鍛えるサーキットを継続的に取り組ませたり, 走の基本であるもも上げ走や腕上げを行ったりする。
②中学校区の課題種目 ( 20mシャトルラン ) 具体的な数値目標 (男子3回, 女子3回)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・校内マラソン大会を設定し, 業間マラソンや体育科の時間に個人目標をもって取り組ませることで持久力向上をねらう。 ・3学期には縄跳び検定を実施して, 授業だけではなく, 休憩時間も進んで練習できるようにする。
③自校の課題種目 ( 長座体前屈 ) 具体的な数値目標 (男子3cm, 女子3cm)	具体的な取組内容 ・体育科の授業では, 準備運動に必ず柔軟運動を取り入れる。 ・昨年度, 長期休業中に取組として行った「柔軟性アップカード」を活用した柔軟運動を継続させる。また, 保健だより等で柔軟性の大切さや柔軟性向上に繋がる運動を紹介して, 家庭にも協力を呼びかける。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)